

令和7年度 過年度卒業生アンケート調査結果
東京未来大学 通信教育課程

<目的>

この調査は、本学を卒業してから2年が経過した学生に対して、大学で学んだスキルの卒業後における定着度合を調査し、その結果を本学の教育内容および教育方針の見直しに活用することを目的とする。

<調査概要>

- ・実施期間 : 2026年1月29日～3月1日
- ・対象 : 2023年度春学期および秋学期の卒業生65名（編入生除く）
- ・方法 : Google Formsより回答（メールで案内）
- ・回答数 : 12名（回答率18.5%）【参考2024年度：19名（回答率24.6%）】

■回答率

所属	回答者数	対象者数	回答率
こども心理学部	9	46	19.6%（昨年25.8%）
モチベーション行動科学部	3	19	15.8%（昨年20.0%）
計	12	65	18.5%（昨年24.6%）

■年代

所属	20代	30代	40代	50代以上
こども心理学部	2	2	2	3
モチベーション行動科学部	1	0	1	1
計	3	2	3	4

■性別

所属	男	女	未回答
こども心理学部	4	5	0
モチベーション行動科学部	1	2	0
計	5	7	0

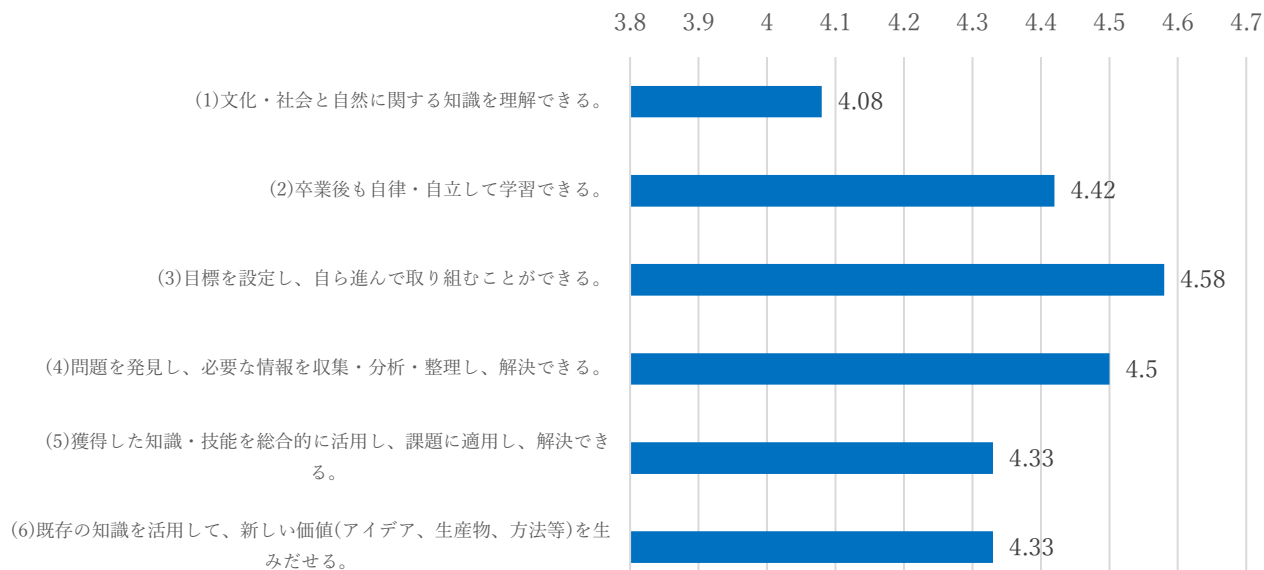
■職業

所属	公務員	教職員	会社員	個人営業	無職	その他
こども心理学部	0	2	4	0	0	3
モチベーション行動科学部	1	2	0	0	0	0
計	1	4	4	0	0	3

【両学部 汎用的スキルに関する調査】

	5.身に付いている	4.ある程度身に付いている	3.どちらともいえない	2.あまり身に付いていない	1.身に付いていない	平均値	平均値 (昨年度)
(1)文化・社会と自然に関する知識を理解できる。	4 (33%)	5 (42%)	3 (25%)	0 (0%)	0 (0%)	4.08	3.42
(2)卒業後も自律・自立して学習できる。	7 (58%)	3 (25%)	2 (17%)	0 (0%)	0 (0%)	4.42	3.89
(3)目標を設定し、自ら進んで取り組むことができる。	8 (67%)	3 (25%)	1 (8%)	0 (0%)	0 (0%)	4.58	4.00
(4)問題を発見し、必要な情報を収集・分析・整理し、解決できる。	7 (59%)	4 (33%)	1 (8%)	0 (0%)	0 (0%)	4.50	3.86
(5)獲得した知識・技能を総合的に活用し、課題に適用し、解決できる。	5 (42%)	6 (50%)	1 (8%)	0 (0%)	0 (0%)	4.33	3.79
(6)既存の知識を活用して、新しい価値(アイデア、生産物、方法等)を生みだせる。	6 (50%)	4 (33%)	2 (17%)	0 (0%)	0 (0%)	4.33	3.63

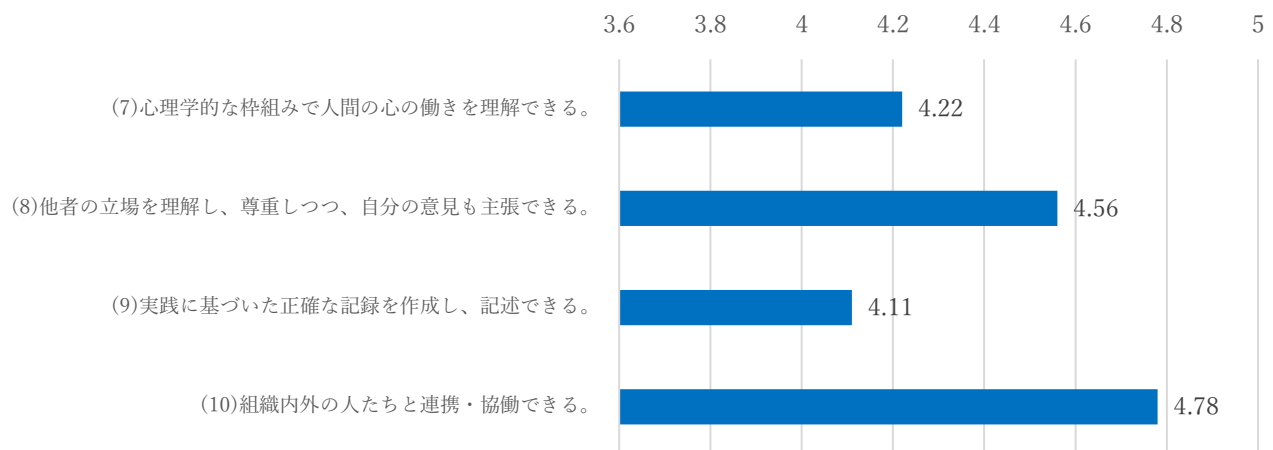
【両学部 汎用的スキルに関する調査】平均値



【 こども心理学部 専門的スキルに関する調査 】

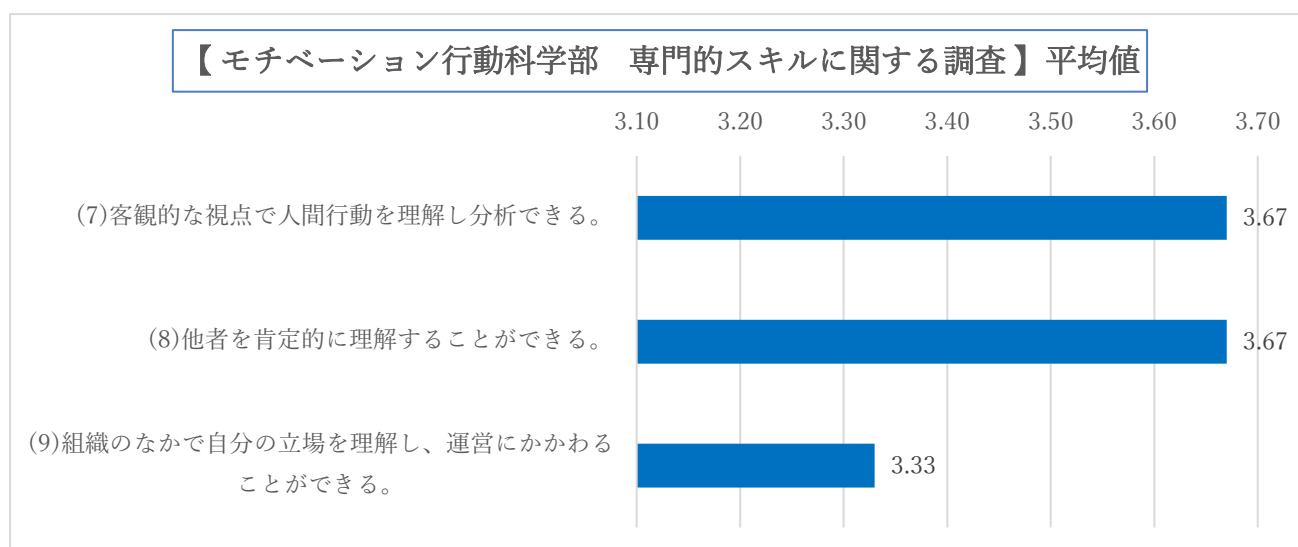
	5.身に付いている	4.ある程度身に付いている	3.どちらともいえない	2.あまり身に付いていない	1.身に付いていない	平均値	平均値 (昨年度)
(7)心理学的な枠組みで人間の心の働きを理解できる。	3 (33%)	5 (56%)	1 (11%)	0 (0%)	0 (0%)	4.22	3.94
(8)他者の立場を理解し、尊重しつつ、自分の意見も主張できる。	5 (56%)	4 (44%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	4.56	3.88
(9)実践に基づいた正確な記録を作成し、記述できる。	3 (33%)	5 (56%)	0 (0%)	1 (11%)	0 (0%)	4.11	3.63
(10)組織内外の人たちと連携・協働できる。	7 (78%)	2 (22%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	4.78	4.00

【 こども心理学部 専門的スキルに関する調査 】 平均値



【 モチベーション行動科学部 専門的スキルに関する調査 】

	5.身に付いている	4.ある程度身に付いている	3.どちらともいえない	2.あまり身に付いていない	1.身に付いていない	平均値	平均値 (昨年度)
(7)客観的な視点で人間行動を理解し分析できる。	0 (0%)	2 (67%)	1 (33%)	0 (0%)	0 (0%)	3.67	4.00
(8)他者を肯定的に理解することができる。	0 (0%)	2 (67%)	1 (33%)	0 (0%)	0 (0%)	3.67	4.33
(9)組織のなかで自分の立場を理解し、運営にかかわることができる。	0 (0%)	1 (33%)	2 (67%)	0 (0%)	0 (0%)	3.33	4.00



<まとめ>

両学部ともに、概ねの項目において「5. 身についている」「4. ある程度身についている」という回答が得られていることから、本学の教育内容および教育方針が汎用的および専門的スキルを定着させ得るものであると言える。一方で、一部、得点が低い項目もあり、その理由等についてのより詳細な検討が課題である。